

日本学生支援機構奨学金

本学では日本学生支援機構の奨学金を利用することができます。申込方法には高校在学中に申請する「予約採用」と入学後に申請する「在学採用」があります。奨学金を希望される方は、入学時の説明会（4月初旬予定）にご参加ください。

※2025年12月現在の内容です。

種類	世帯の所得金額に基づく区分	自宅通学（社会的養護者） [月額]	自宅外通学	備考
給付型奨学金 返済不要 学力・家計基準あり	・第Ⅰ区分 ・第Ⅰ区分（多子世帯）	38,300円（42,500円）	75,800円	※ 学業は半年毎、家計は年に1回（秋）にJASSOの審査あり
	・第Ⅱ区分 ・第Ⅱ区分（多子世帯）	25,600円（28,400円）	50,600円	
	・第Ⅲ区分 ・第Ⅲ区分（多子世帯）	12,800円（14,200円）	25,300円	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	9,600円（10,700円）	19,000円	
	多子世帯	無し	無し	
貸与型奨学金 返済必要 学力・家計基準あり	第一種奨学金（無利子）	20,000円、30,000円、 40,000円、53,000円	20,000～60,000円 （1万円刻みで選択）	※「機関保証」と「人的保証」 いずれかを申請時に選択 ※利率上限3%（在学中は利息なし）利率固定方式と利率見直し方式を選択
	第二種奨学金（有利子）	20,000～120,000円 （1万円刻みで選択）		
	入学時特別増額貸与奨学金 （一時金・有利子）	10、20、30、40、50万円の中から選択（1回） 予約・一次採用（春期）のみ申し込み可		※日本政策金融公庫の「国の教育ローン」への申請が必要 ※審査結果通知書が必要

※詳細については右ページのQRコードより日本学生支援機構（JASSO）のホームページにてご確認ください。

採用決定および 振込開始までの流れ

※予約採用とは
進学先が確定してなくても、入学前に奨学金を予約できる制度です。進学の前年に在学している高等学校等の奨学金窓口へ申し出て手続きをします。

予約採用確定の方は
個別に奨学金振込開始までの間の学費
納入スケジュールのご相談を承ります。

 0120-037-122



高等教育の修学支援新制度

本学は、国の「高等教育の修学支援新制度」の対象校に認定されています。

新制度では、日本学生支援機構給付奨学金と併せて授業料や入学金減免の支援を受けることができます。

日本学生支援機構給付奨学金の「予約採用」の手続きをされ、採用候補決定通知を受けた方も、入学手続き締切日までに入学時納入金の全額を納入していただき、学生となった後、所定の手続きを行うことにより入学金・授業料の減免を受けることが可能となります。

「多子世帯への大学等の授業料無償化等」については、日本学生支援機構の「給付奨学金」への申込みが必要となります。

多子世帯は所得によらず、満額支援されます。但し、支援上限は授業料減免62万円、入学金最大25万円。

※2025年12月現在の内容です。

支援内容	授業料等減免
支援期間	原則、標準修業年限(2年)
支援対象者の要件	2026年4月以降に名古屋文化短期大学の学生であること 日本学生支援機構 給付奨学金と基準は同じです。 ※修学支援新制度の支援対象者の認定要件の詳細については、下記QRコードより日本学生支援機構のホームページにてご確認ください。

日本学生支援機構奨学金・高等教育の修学支援新制度に関する問い合わせ先

日本学生支援機構ホームページ

ホームページは
こちらから



「進学資金シミュレーター」

※シミュレーターによる試算結果は、実際に申し込んだ場合の審査結果とは異なることがありますので、参考としてご覧ください。

詳しくは
こちらから



文部科学省「高等教育の修学支援新制度」ホームページ

ホームページは
こちらから



奨学金相談センター(ナビダイヤル)

0570-666-301
海外からの電話、一部携帯電話、
一部IP電話からは 03-6743-6100
月～金 9:00～20:00(土日祝日・年末年始を除く)

国の教育ローン「日本政策金融公庫」

ホームページは
こちらから



返済
シミュレーション



母子父子寡婦福祉資金貸与

ひとり親家庭に配慮された制度の利用を希望する方のために市区町村が入学資金と学費を貸与する制度です。
お住まいの各市区町村へご確認ください。

教育ローン
「SMBCグループ C-Web学費ローン」

ホームページは
こちらから

